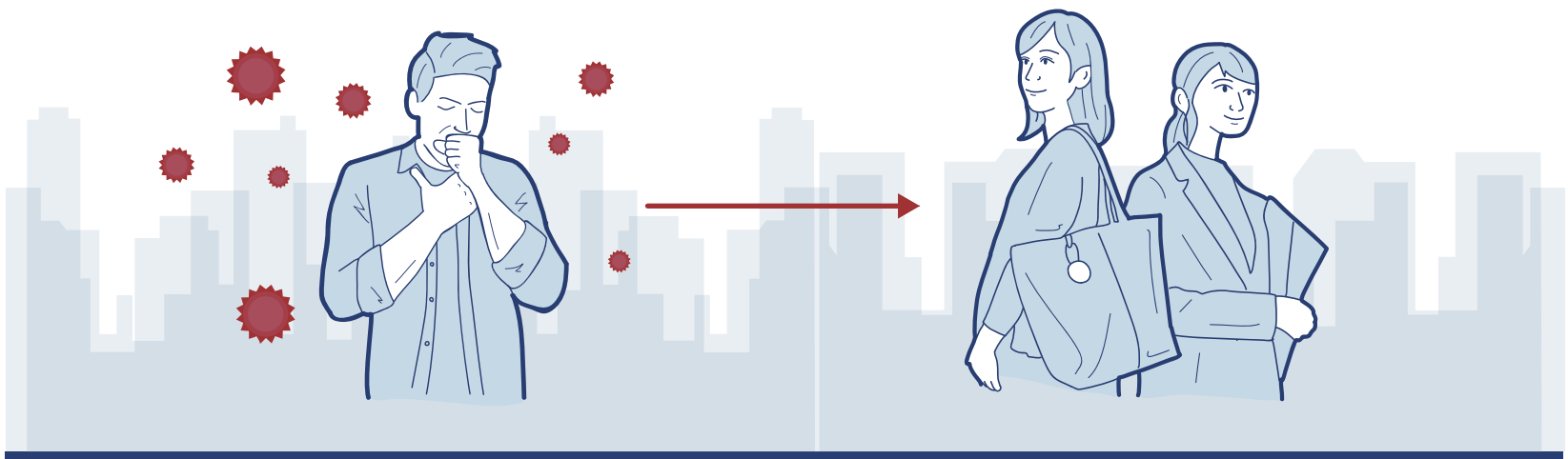
44～61歳男性の皆様へ

風しんの抗体を持っていると思い込んでいませんか？

1：この年代の男性には、公的な予防接種が行われていません

2：他の感染症の水ぼうそう・はしかと混同している場合があります

あなたがきっかけで、妊娠初期の女性が風しんに感染すると
赤ちゃんが心疾患・白内障・難聴をもって生まれる可能性があります



未来の子どもたちを守るために『抗体検査』を受けましょう！

ステップ 1

二次元コードから医療機関を検索し、
抗体検査の予約をする

厚生労働省HP

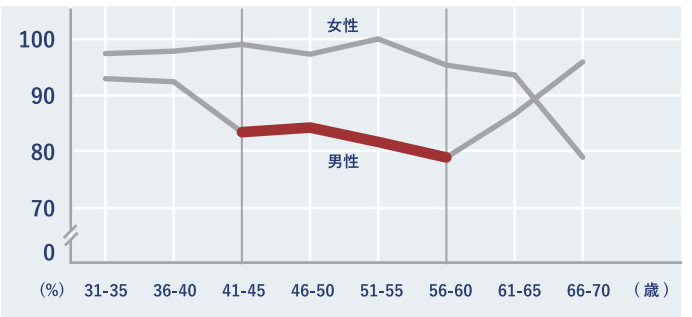
ステップ 2

抗体検査を受ける

月 日 （ ） 午前 午後 ：

同封のクーポン券を使えば『無料』で受けることができます！

44 - 61 歳男性の『あなた』は、風しんに感染する可能性が高いです



※2022 年 4 月時点の年齢に調整済み

1962 年 4 月 2 日～ 1979 年 4 月 1 日生まれの男性は、過去に公的な予防接種が行われてこなかったために、他の性年代よりも抗体保有率が低く、風しんに感染するリスクが高くなっています。

自覚症状が少ないため、電車や職場など人が集まる場所で、気づかない内に周囲の人たちに感染を広げてしまうおそれがあります。

出典：国立感染症研究所・2020 年度調査

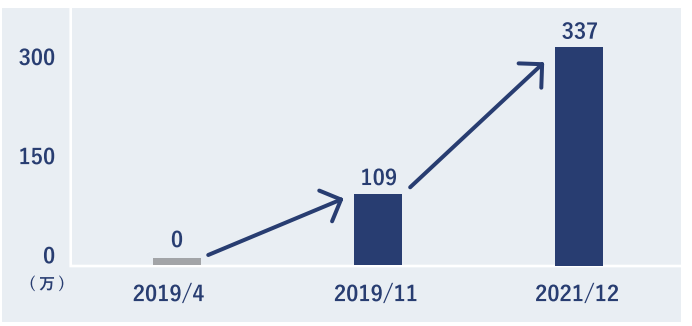
風しんとは

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散る飛沫（しぶき）を吸い込んで感染します。小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに高熱や脳炎になって入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化・関節痛など重症化の可能性があります。

先天性風しん症候群とは

妊娠初期（２０週以前）に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性があります。

同年代男性の『約 337 万人』が、2019 ～ 21 年度に抗体検査を受けました



2019～21年度で、厚生労働省が風しんの拡大防止のために実施している無料の抗体検査を受けた人は、約３３７万人に上ります。

風しんは無症状でも人に感染させてしまう可能性があるため、抗体検査と予防接種により集団免疫を獲得することが重要です。

出典：厚生労働省、日本経済新聞

ステップ３：風しんの抗体がなかった場合

医療機関で『予防接種』を受けましょう！

クーポン券を使えば、予防接種も『無料』で受けることができます！

ひと、くらし、みらいのために 厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

CIDER 大阪大学 感染症総合教育研究拠点

本リーフレットは、厚生労働行政推進調査事業費の新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「風しん第５期定期接種の対策期間延長における風しん予防接種促進に関する研究」の成果物です。